

平成 24 年度

北海道コンクリート診断士会
第 4 回 通常 総 会

日 時 平成 24 年 2 月 17 日 (金) 13:30～

場 所 かでる 2. 7 (1060 会議室)

北海道コンクリート診断士会

第4回通常総会次第

開催日時：平成24年2月17日（金）

開催場所：かでの2. 7 （1060会議室）

1. 開会の辞 13:30
2. 会長挨拶
3. 議長選出（会則第10条（6）により、会長が行う）
4. 議案
 - ・ 第1号議案 平成23年度事業報告
 - ・ 第2号議案 平成23年度収支決算
 - ・ 第3号議案 平成24年度事業計画（案）
 - ・ 第4号議案 平成24年度収支予算（案）
 - ・ 第5号議案 役員の退任について
 - ・ 第6号議案 会則（旅費）の改定について
5. その他、質疑応答
 - ・ 日本コンクリート診断士会の活動状況 （事務局）
6. 閉会の辞 14:20

講演会次第

1. 開会の辞 14:30
2. 特別講演 14:40

演題： 「予防保全型維持管理の実施に向けた調査・診断ならびに
補修対策の提案事例」

講師：日本データサービス株式会社 設計診断部課長 木村 博史 様
3. 閉会の辞 15:45

平成23年度 事業報告

1. 第3回通常総会

平成23年2月1日(火) 14:00～ 北海道立道民活動センター「かでの2. 7」

- ・総会 ①平成22年度事業報告
②平成22年度収支決算
③平成23年度事業計画(案)
④平成23年度収支予算(案)

・来賓挨拶 東京コンクリート診断士会会長 小野 定 氏

・会長挨拶 北海道コンクリート診断士会会長 上原 泰正 氏

(出席者：正会員30名、賛助会員(個人)1名、賛助会員(法人)14社、委任状：54)

2. 特別講演

平成23年2月1日(火) 15:00～ 北海道立道民活動センター「かでの2. 7」

- ・演題 コンクリートの凍害劣化について—寒地土木研究所における最近の研究—
- ・講師 独立行政法人土木研究所 寒地土木研究所 寒地基礎技術研究グループ
耐寒材料チーム 上席研究員 田口 史雄 氏

(出席者：正会員29名、賛助会員(個人)1名、賛助会員(法人)12社(12名))

3. 診断士普及講習会 (担当役員：神田)

平成23年3月31日(木) 10:00～ 北海道開発協会会議室

- ・内容 コンクリート診断技術のポイント
- ・講師 (株)C&Rコンサルタント 代表取締役社長 小野 定 氏

(出席者：正会員10名、賛助会員(個人)3名、賛助会員(法人)1社(29名))

4. 第1回コンクリート診断技術研修会 (担当役員：大内)

平成23年6月10日(金) 13:30～ 北海道開発協会会議室

- ・内容 ①「東日本大震災におけるコンクリート構造物の被害状況」
②「コンクリート構造物の耐久性に関する最近の話題」
- ・発表者 ①日本データサービス(株) 大内 義仁 氏
②北海道大学大学院教授 杉山 隆文 氏

(出席者：正会員44名、賛助会員(個人)3名、賛助会員(法人)13社(26名))

5. 第2回コンクリート診断技術研修会 (担当役員：田畑、大内)

平成23年7月30日(土) 9:00～ 北海道職業能力開発大学校

- ・内容 鉄筋コンクリートの診断・非破壊試験実習
「圧縮強度、動弾性係数の推定、鉄筋探査、ひび割れの測定、中性化」

- ・講師 北海道職業能力開発大学校元教授 田畑 雅幸 氏
日本データサービス(株) 大内 義仁 氏
(出席者：正会員 26 名、賛助会員（個人）2 名、賛助会員（法人）6 社（6 名）)

6. 現場研修会（札幌・京極）（担当役員：大塩、種綿）

平成 23 年 10 月 18 日（火）9:00～

- ・内容 ①札幌市水道記念館・藻岩浄水場
②京極水力発電所
- ・説明者 ①札幌市水道記念館 アテンダント：鈴木 智保、野副 明美 氏
②京極水力発電所 北海道電力(株)京極発電所土木第二課副長 角谷 英一郎 氏
(出席者：正会員 15 名、賛助会員（法人）1 社（1 名）)

7. 第 3 回コンクリート診断技術研修会（担当役員：奈良、大内）

平成 23 年 11 月 25 日（金）13:15～ 札幌コンベンションセンター

- ・内容 ①診断・補修事例「橋梁の補修ならびに簡易的診断事例」
②診断・補修事例「変状調査と補修事例」
③診断事例「サーモグラフィ法（赤外線）による調査診断」
- ・発表者 ①加藤建設(株) 加藤 茂樹 氏
②道東セメント販売(株) 梶山 和徳 氏
③日本データサービス(株) 糸賀 大介 氏
(出席者：正会員 26 名、賛助会員（個人）1 名、賛助会員（法人）6 社（15 名）)

8. 役員会

(1) 第 1 回役員会（出席者：役員 10 名）

平成 23 年 5 月 13 日（金）14:00～ 北海道コンクリート診断士会 事務局会議室

- ・内容 ①役員人事について
②当会HPの更新について
③事業計画(案)について
④その他

(2) 第 2 回役員会（出席者：役員 7 名）

平成 24 年 1 月 20 日（金）14:00～ 北海道コンクリート診断士会 事務局会議室

- ・内容 ①平成 23 年度事業実績について
②総会前アンケートについて
③総会・平成 24 年度事業計画(案)について
④その他について

9. 技術部会

(1)第1回技術部会（出席者：メンバー10名）

平成23年7月6日（水）14:00～ 北海道コンクリート診断士会 事務局会議室

- ・内容 ①メンバー紹介、主査、副査（2名）選出
- ②技術部会の活動目的、活動スケジュールについて
- ③国、北海道における積算基準の調査・診断、補修・補強の設計、工事に関する現状把握（積算基準調査）について
- ④その他

(2)第2回技術部会（出席者：メンバー7名）

平成23年9月9日（金）14:00～ 北海道コンクリート診断士会 事務局会議室

- ・内容 ①積算基準の現状について
- ②次回までの事前作業について
- ③全国の診断士会へのアンケート調査について
- ④その他

10. 広報活動

(1)入会促進活動

平成23年10月26日（水）13:00～ コンクリート診断士更新講習会 北海道建設会館

- ・内容 ①入会案内の配布

(2)講師派遣

平成24年 1月30日（月）10:00～ 留萌建設協会オープンセミナー 留萌建設会館

- ・内容 ①「コンクリート構造物の劣化・変状と発生メカニズム」
- ②「コンクリート構造物の調査・診断技術」

●平成23年度 事業計画、総括

事業名（計画）	実施	未実施
第3回通常総会	○	—
特別講演会	○	—
コンクリート診断士普及講習会	○	—
第1回コンクリート診断技術研修会 （東日本大震災、コンクリートの耐久性）	○	—
第2回コンクリート診断技術研修会 （鉄筋コンクリートの診断・非破壊試験実習）	○	—
第3回コンクリート診断技術研修会 （コンクリート診断・補修事例）	○	—
現場研修会	○	—

事業活動（研修会・講習会等）実施報告書－1

1	活動名称	平成23年度第1回コンクリート診断技術研修会
2	実施日時	平成23年6月10日（金）
		13:30 ～ 17:00
3	担当幹事	大内
4-1	実施内容・名称-1	「東日本大震災におけるコンクリート構造物の被害状況」
4-2	上記概要（講義の概要）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災の概要 ・ 岩手県内港湾・漁港施設の被害状況 ・ 岩手、宮城、福島県の鉄道・道路の被害状況 ・ その他の構造物における被害状況
4-3	講師（氏名・所属会社名）	大内 義仁（日本データサービス㈱）
5-1	実施内容・名称-1	「コンクリート構造物の耐久性に関する最近の話題」
5-2	上記概要（講義の概要）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寒冷地における複合劣化（塩害・凍害・ASR） ・ 橋梁点検結果（H18）から見た積雪寒冷地の劣化機構と地域分布 ・ 高解像度型X線CTによる凍害試験・評価 ・ EPMAによる塩分浸透診断
5-3	講師（氏名・所属会社名）	杉山 隆文（北海道大学）
6-1	実施内容・名称-1	
6-2	上記概要（講義の概要）	
6-3	講師（氏名・所属会社名）	
7-1	実施内容・名称-1	
7-2	上記概要（講義の概要）	
7-3	講師（氏名・所属会社名）	

現場研修会『札幌市水道記念館・藻岩浄水場、京極水力発電所』報告

1.はじめに

診断士の技術研鑽を目的とした現場研修会は、急な案内となりましたが、研修先を①札幌市水道記念館・札幌市藻岩浄水場、②京極水力発電所として行いました。

2.研修概要

研修日時：平成23年10月18日(火)

研修先/講師：

①札幌市水道記念館・藻岩浄水場

アテンダント：鈴木 智保氏

野副 明美氏

(両氏ともに札幌市水道記念館)

②京極水力発電所

講師：角谷 英一郎氏

(北海道電力(株)京極水力発電所土木第二課副長)

参加者：16名

3.研修報告

①札幌市水道記念館・藻岩浄水場

札幌市水道記念館は、藻岩浄水場の一部を改修して、平成19年にリニューアルオープンしたものです。

水道事業への理解を深めてもらうとともに、子どもたちの学びの場、市民の憩いや活動の場として設置されました。毎年4月から11月の来館者は10万人ほどになるそうです。

展示室の一部には、昭和12年に建設された当時のコンクリートが露出しています。参加者は、70数年を経ても健全なコンクリートに目を見張っていました。



写真1 昭和12年建設当時のコンクリートの表面を観察する参加者(札幌市水道記念館)

また、藻岩浄水場は、札幌市中央区と西区の一部に水を供給しています。

平成19年には、藻岩発電所・取水堰とともに土木学会選奨土木遺産となっています。

この日は、浄水場のフロック形成池、沈殿池、ろ過池を見学し、説明を受けました。

取水から配水までの時間や沈殿物の処理方法・処理する時期などに質問がありました。



写真2 フロック形成池の見学(藻岩浄水場)

②京極水力発電所

京極発電所は、上部調整池から京極ダム調整池までの落差約400mを利用して、3台の水車・発電機により最大出力60万kWの発電を行う北海道内初の純揚水発電所です。(全国では27箇所目)

平成14年2月に着工し、京極(下部)ダム湛水開始が平成25年11月、1号機運転開始を平成26年10月を予定しています。

角谷講師は、コンクリート診断士です。上部調整池⇒地下発電所⇒下部ダムの順に見学しました。



写真3 上部調整池(京極水力発電所)



写真4 積雪の中、上部調整池を見学する参加者(京極水力発電所)

上部調整池は、有効貯水容量が412万m³で、アスファルト表面遮水壁構造のものです。冬期の積雪は6m、気温は氷点下25℃に達するため、実際の施工は6月から10月までの年間約5カ月に限られます。

工事をする上で役立ったのは、情報化施工のようです。上部調整池や下部ダムでは、GPSなどによってバックホウやブルドーザの作業が行われています。



写真5 地下発電所の内部(京極水力発電所)



写真6 地下発電所へのトンネル(京極水力発電所)

地下発電所では、コンクリート工事が行われていました。苫東火力発電所から産出されるフライアッシュが使用され、コンクリート工事全体の約3/4の量(約14万m³)を賄うそうです。



写真7 下部ダム堤体盛立状況(京極水力発電所)

下部ダムは、中央土質遮水壁型フィルダム(高さ54.0m、堤頂長332.5m)で、45トン重ダンプで盛立作業の真っ最中です。

3時間にもわたる見学でしたが、参加者からは道内初の純揚水式発電所の積雪や降雪の影響についての質問などがありました。

4.終わりに

当日は京極で積雪があるなど気温が低く、天候に恵まれない一日でしたが、参加者はコンクリート構造物を手で触れるなど熱心に研修を受けていました。

札幌市水道記念館のアテンダントの鈴木、野副両氏、北電の角谷講師には丁寧にお話していただき、本当にありがとうございました。

参加者の皆様ご協力ありがとうございました。



(文責:大塩進一)

事業活動（研修会・講習会等）報告書－ 1

1	活動名称	平成 23 年度第 2 回コンクリート診断技術研修会
2	実施日時	平成 23 年 7 月 30 日（土）
		9:00 ～ 16:00
3	担当幹事	田畑、大内
4-1	実施内容・名称-1	「鉄筋コンクリートの診断・非破壊試験実習」
4-2	上記概要（講義の概要）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10φ × 20cm 試験体の非破壊・破壊試験の実験 ・ シュミットハンマーによる推定圧縮強度 ・ 共振法による推定圧縮強度 (Fc) ・ 推定動弾性係数 (Ed) ・ U. S. T による推定圧縮強度 (Fu) ・ 推定動弾性係数 (Eu) （伝搬時間 (Vp)） ・ TIC0 による推定圧縮強度 (Ft) ・ アムスラー試験機による実際の圧縮強度 (Fc) ・ 圧縮試験終了後割裂して中性化試験 ・ 鉄筋探査機(プロフォメーター)による測定 ・ 鉄筋探査機(ハンディサーチ)による測定 ・ 鉄筋腐食度(キャニンミニ)の測定 ・ ひび割れ幅の測定 ・ 木材・無機質材料の含水率の測定
4-3	講師（氏名・所属会社名）	田畑 雅幸（北海道職業能力開発大学校） 大内 義仁（日本データサービス㈱）

事業活動（研修会・講習会等）報告書－1

1	活動名称	平成23年度第3回コンクリート診断技術研修会 ※参加者：47名
2	実施日時	平成23年11月25日（金）
		13.30 ～ 17:00
3	担当幹事	奈良、大内
4-1	実施内容・名称-1	「橋梁の補修ならびに簡易的診断事例」
4-2	講義の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沓座拡幅、落橋防止工 ・ 伸縮継手工 ・ 橋面防水工 ・ コンクリート診断 中性化、圧縮強度（シュミットハンマー）、外観目視、 調査結果に基づく評価、補修検討
4-3	講師（氏名・所属会社名）	加藤 茂樹（加藤建設株式会社）・正会員
5-1	実施内容・名称-2	「変状調査と補修事例」
5-2	講義の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 変状調査事例 ひび割れ、鉄筋腐食、アルカリシリカ反応、化学的 腐食、火害 ・ 補修事例 表面被覆工法、断面修復工法、グラウト工法、注入 工法、鋼板補強
5-3	講師（氏名・所属会社名）	梶山 和徳（道東セメント販売株式会社）・正会員
6-1	実施内容・名称-3	「サーモグラフィ法（赤外線）による調査診断」
6-2	講義の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤外線の性質 ・ 測定機器の性能 ・ 現地調査の注意点 ・ 赤外線法の適用限界 ・ 調査精度向上の方法 ・ 調査結果の総合評価 ・ サーモグラフィ法の今後
6-3	講師（氏名・所属会社名）	糸賀 大介（日本データサービス株式会社）・賛助会員

○アンケート調査回答内容一覧

2011.12.27 HCD事務局

診断士会	質問1			質問2			質問3		質問4	質問5		
	国	県	市町村	国	県	市町村	有	無				
京滋	無	無	—	無	無	—		○	<ul style="list-style-type: none"> ・4万円程度 (技師A相当の直接人件費) ・経費率は調査業務相当 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地見学会 		
高知県	無	無	無	—	—	無		○	<ul style="list-style-type: none"> ・1日当り: 技師A+諸経費(120%) + 技術経費(30%) = 111,100円 ・診断報酬例: 砂すじ、豆板などの初期欠陥のレポート2枚程度 (30,000円) ~ 各種診断・補修方法など (200,000円) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート技術研修会 (CPDS認定講習)、受講対象者は、建設関係、コンサルタント、発注官庁 		
新潟県	無	無	無	無	無	無		○	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県の仕様書に「ひび割れ調査の評価に関する留意事項」として、診断士に相談することも留意するとなっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例なし 		
青森県	無	無	無	無	無	無		○	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県とも義務付けはされていない ・ただ、ひび割れの調査報告については診断士が求められている 	<ul style="list-style-type: none"> ・国の場合、北海道と同様 ・他に「建設仮設工事の積算」を採用しているよう ・それ以外は歩掛調査 ・特に、小規模な断面修復、クラック処理、橋面防水と舗装などは、施工単価と積算金額に開き有り 	<ul style="list-style-type: none"> ・診断士会としては、一応、調査の標準単価を定めている ・一連の報告書提出までの金額とし、状況に応じて値引きしている (別添の単価表を参照) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点ではなし ・先般、JCI東北支部主催の勉強会では、県と連携して講師ならびに職員の参加をお願いした。
静岡	—	有	—	—	—	—		○	<ul style="list-style-type: none"> ・県では、橋梁補修工事の特記仕様書において打音点検に診断士を義務付けた例がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ・35,000円/日で見積り 	<ul style="list-style-type: none"> ・県、市からひび割れ、劣化の調査依頼が3~4件/年ある ・県、市から100名ほどの参加で、診断士会主催の研修会を年1回 ・県職員研修会に講師派遣を2~3回/年

診断士会	質問1			質問2			質問3		質問4	質問5		
	公募要件でコンクリート診断士の配置が義務付けられた事例は			発注機関に補修・補強工に関する積算基準書の有無			コンクリート診断士の労務基準単価の有無				診断業務における診断士の1日当りの報酬は	貴会の活動で、発注機関と協力・連携している事例は
	国	県	市町村	国	県	市町村	有	無				
大分県	無	無	無	無	無	無		○	<ul style="list-style-type: none"> ・100,000円/件:現地調査、必要資料は依頼者が実施する、現地踏査、報告書作成、内容説明で正味2~3日 ・企業としての正式委託の場合200,000円/件程度必要 	・事例なし		
	・国、県の工事においてクラックが発生した場合、他社の診断士による診断、報告書を求められることがある			・北海道と同様			<ul style="list-style-type: none"> ・一般管理費が必要と考える ・単価より歩掛 					
鳥取県	無	無	無	無	有	無		○	<ul style="list-style-type: none"> ・診断士としての報酬単価はないが、調査・報告書を含めた1件当たりの単価を決めている ・現地在が半日相当の業務:100,000円程度 ・現地在が1日相当の業務:180,000円程度 	・過去に県への研修会(無償)を3回程度実施		
	・県の診断業務において、診断士の配置を要件とされた事例有り			・県において、橋梁補修詳細設計、橋梁補修詳細調査に単価表有り(取扱注意)			-					
東海	-	-	-	-	-	-		○	・35,000円/日程度	・事例なし		
	・公募での配置案件は無し ・クラック等の問題が発生した場合、診断士のコメントが求められる			・北海道と同様			・明確には設定していない					
東京	無	無	無	無	有	無		○	・32,000~70,000円/日の範囲	・事例なし		
	・国の工事において同様の事例有り ・東京都の公募において診断士の配置を義務付けている事例有り			・(社)日本建設機械化協会の「橋梁架設工事の積算」がある			・キャリア、他資格(例えば技術士)の保有関係で異なる					
福井県	無	無	無	無	有	無		○	-	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁長寿命化修繕計画策定委員会(県)への委員派遣 ・県職員向けの研修会開催 ・県では、地元自治体との協力・連携が協力を推進されている 		
	・管理技術者以外の資格要件化は多数有る ・別添資料参照 ・県内市町も県にならう形で資格要件化を進めている			・県が積算基準書の作成を進行中			-					

北海道コンクリート診断士会 入会案内

会則

本会は、社団法人日本コンクリート工学協会のコンクリート診断士制度の趣旨に基づきコンクリート診断技術の向上、コンクリート診断士の品位の保持により、偏らない公正なコンクリート診断士を目指すことで社会に貢献し、このことにより社会の信頼を得て、社会的地位の向上を図ることを目的とします。

(会則第1章第3条より)

会員の資格

1. 正会員は、北海道内に居住し、または勤務するコンクリート診断士
2. 賛助会員は、この会の目的に賛同する個人または法人
3. なお、道内におけるコンクリート診断士の把握の為、会員にならない場合の登録制度があります

会員特典

会員には、その種類に応じて下記の特典があります

特典項目	正会員	賛助会員 (個人)	賛助会員 (法人)	名簿登録者
コンクリートの診断技術に関連する 情報提供	○	○	○	—
コンクリートの診断技術に関連する 各種研修会参加 (技術研修会、現場見学会、分科会など)	○	○	○	—
コンクリート診断士制度の普及活動参加 (コンクリート診断士の資格取得の推進など)	○	○	○	—
コンクリート診断士の 品位保持に関する活動参加	○	○	○	—
日本コンクリート診断士会会員資格の保持	○	○	—	—
北海道コンクリート診断士会 会員相互の交流	○	○	○	—
全国のコンクリート診断士会 会員相互の交流	○	○	○	—
その他関連団体との相互交流	○	○	○	—

北海道コンクリート診断士会 事務局

〒065-0016

北海道札幌市東区北16条東19丁目1-14

日本データサービス株式会社

設計診断部 内

TEL 011-780-1116

FAX 011-780-1126

E-Mail secretariat@hcd-net.jp

URL <http://www.hcd-net.jp/>

正会員

「北海道コンクリート診断士会」 申込書

コンクリート診断士 登録番号			
氏 名		(ふりがな)	
生 年 月 日			
住 所			
携 帯 番 号			
自 宅 電 話 番 号		自 宅 F A X 番 号	
勤 務 先 名			
勤 務 先 住 所			
勤 務 電 話 番 号		勤 務 F A X 番 号	
E - m a i l			
専 門 分 野 ※別紙分類参照			
資 格 ※差し支えなければ			
名 簿 掲 載	掲載可 ・ 掲載不可		

※赤字はホームページ掲載項目となります。(掲載拒否は事務局へ連絡して下さい)

・ 申込先 (事務局)

担 当 者 : 大内 義仁 (事務局長)

電 話 番 号 : 011-780-1116

E - m a i l : secretariat@hcd-net.jp

F A X 番 号 : 011-780-1126

U R L : www.hcd-net.jp

・ 会費振込口座

北海道銀行 釧路支店 (普) 0511401

北海道コンクリート診断士会 (ホッカイドウコンクリートシンダンシカイ)

(振込手数料につきましては会員様のご負担でお願いいたします。)

※本申込書に記載された個人情報については当会の運営、及び目的以外には一切使用致しません。

※連絡方法については、基本的にメールにて行います。

「現場技術者能力向上セミナー」＜CPDS認定講座＞

開催のご案内

建設投資の縮減等による厳しい時代が続く中、建設現場における現場革新および現場総合力の向上は必要不可欠です。また、コンクリート構造物の診断技術の向上や維持管理に向けた専門技術の向上も重要であると確信しています。

その中で今回は建設現場で中心的な役割を担っている現場技術者および関係者、建設業関連に携わっている方を対象としました「現場技術者能力向上セミナー」を企画しました。ぜひご参加、ご活用して頂きますよう、よろしくお願いたします。

なお、本セミナーはCPDS対象セミナーとして、（社）全国土木施工管理技士会から認定をいただいております。
＜留萌建設協会 会長 堀口 亘＞

- 1 開催日時：平成24年1月30日（月）10：00～16：00
- 2 開催場所：留萌建設協会（留萌市寿町2丁目）
- 3 参加対象者
 - ◇ 現場技術者および現場施工に携わっている方
 - ◇ その他、建設業関連に携わっている方
- 4 受講料：無 料（CPDS：4～5ユニット予定）
※受講終了後に「CPDS受講証明書」をお渡しいたします
- 5 講座の内容および講師
 - (1)「コンクリート構造物の劣化・変状と発生メカニズム」
講師：北海道コンクリート診断士会 木村 博史 氏
 - (2)「コンクリート構造物の調査・診断技術」
講師：北海道コンクリート診断士会 大内 義仁 氏
 - (3)「これからの現場技術者に求められるもの
～現場技術者のリーダーシップの発揮とコミュニケーション手法～」
講師：株式会社クラーク総研 代表取締役 前田 正秀
 - (4)「これからの現場技術者に求められるもの
～現場技術者の組織運営と部下育成手法～」
講師：株式会社クラーク総研 代表取締役 前田 正秀

＜ 1/30 現場技術者能力向上セミナー 参加申込書 ＞

会 社 名： _____ 電話番号： _____
氏 名： _____ 氏 名： _____
氏 名： _____ 氏 名： _____

○ 申込方法

参加希望者は、平成24年1月25日（水）までに、参加申込書にご記入し、FAXにてお申込ください

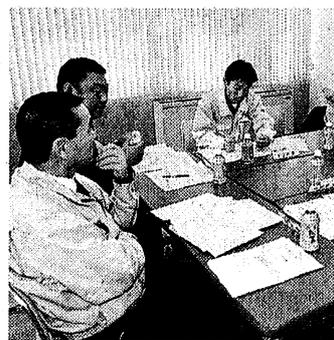
○ 申込先

株式会社クラーク総研 FAX 011-518-1188

○ 問い合わせ先

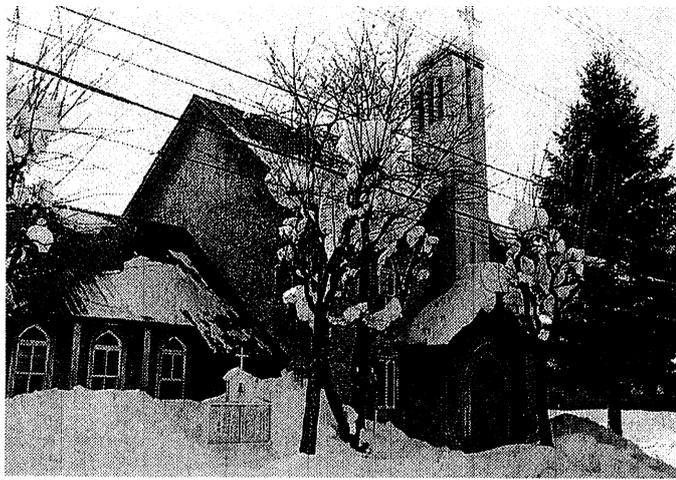
株式会社クラーク総研（鈴木） TEL 011-518-1121

術交流会



設計グループによるグル

【旭川】上川調査設計会（千葉新次会長）は30日、上川合同庁舎旭川建管との技術交流を開いた。協会と建管技術者ら約70人が参加。設計と用地の2グループに分かれ、想定した設計変更に対して協議したり、業務発注前の地元説明を要望した。設計グループでは昨年



迫された。戦後、旭川のキリスト教伝道の足色濃く残した宗教建築、積雪の重みに耐えるための洋風小屋組に斜を用いるなどの構造的特徴を評価。これまでは

旭川バプテスト教会堂を評価し、この活動を公表するため特別表彰に至った。

入でクローラ運搬は計上されていたが、現地の状況から人肩運搬が必要だった。「橋脚補修設計で横断測量のほかに堤内排水の現況測量が不可欠だった。場合など想定された変更協議について、発注者、設計者、施工者がそれぞれの立場から意見を述べた。

地元説明し円滑に測量を行えるよう求めたが「業務は2月に各出張所の担当と協議し発注時期を決め、発注前に2月段階からの状況変化を確認し発注している。発注前に出張所の担当と十分に協議し業務に支障がないよう対応していく」と答え

効率的な現場運営に向け

留萌建管と留萌建協が意見交換



意見交換を行う受発注双方の現場担当者たち

【留萌】留萌建管と留萌建設協会は1月30日、はばろ温泉センターラザで留萌中部・北部地区合同で監督員と現場代理人との意見交換会を開いた。約60人が、六つのグループに分かれ、効率的な現場運営などに向けて討議したほか、提出書類の簡素化や現場における工事の円滑な進行について話し合った。

五十嵐一哉遠別出張所長のあいさつに続き、留萌建管の原俊郎地域調整課主任が工事検定の際の留意事項、関栄作羽幌出張所主任が稚内天塩線の天塩河口大橋の補修を事例に橋梁長寿命化修繕計画の注意点を説明した。この後、グループ討議に入り、提出書類の簡素化などをテーマに意見交換。「写真帳の整理は監

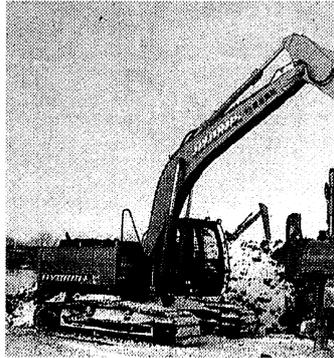


呼び掛け、田中表道建設あったが、町民からの除(20)0003まで。る岩見沢(ポルタビル

ハイブリッド ショベル

錦産業 環境に優しい

【稚内】錦産業（本社・稚内）は、日立建機の20



少級ハイブリッド油圧ショベル「ZH200LC」を導入した。すでに標準型の「ZH200」の導入企業はあるが、クローラ全長が長いLCタイプは道内で初。1月30日に声問川河川改修の現場で活躍し

コンクリートの診断手法学ぶ

留萌建協が能力向上セミナー

【留萌】留萌建設協会は1月30日、留萌建設会館でCPDS認定の現場技術者能力向上セミナーを開いた。クラック総研（本社・札幌）の協賛を受けたもので、17社から現場担当の技術者ら約50人が出席し、コンクリート構造物の劣化や診断技術、現場技術者のリーダースhipなどについて学んだ。冒頭、堀口巨会長が「厳しい状況が依然として続いている。技術者が能力を磨き、各社の基礎体力を向上させることで乗り越えてほしい」と呼び掛けた。

続いて、道コンクリート診断士の木村博史診断士がコンクリート構造物の劣化・変状と発生メカニズムについて講義。同会の大内義仁診断士がコンクリート構造物の調査・診断技術を解説した。前田正秀クラック総研社長が「これから現場技術者に求めら

れるもの」と題してリーダースhipや組織運営などについてそれぞれ説明した。受講者たちは、コンクリート診断の際の目視調査のポイントや現場におけるコミュニケーションやコーティング手法などについて聴き入っていた。

員森社長は「次世代のためにCO2削減に積極的に取り組むたい。今後、他の機種でもハイブリッド化など環境対応されたら導入していく」としている。

道路現況図作成 今週中にも公告

稚内開建

【稚内】稚内開建は、役務の「稚内開建設部道路現況図作成」を今週中にも公告する。入札は3月上旬を予定している。

率化を図る 大起建設株 一日をもつとして新たな これを契を強化し、らびに社会すので、今援を賜りま、まずは、ご挨拶申し

平成二十



北

代表 専務 常務 取 取 取 取 本 社 千 72 札幌支店 千 041 道北支店 千 070 リサイクル千 072 ロドセンター

社会の発展を願って

平成24年度事業計画アンケート調査結果

質問事項	正会員	賛助・個人	賛助・法人
回答率: 47/132=36%	35	3	9
§ 1. 研修会について			
1 事例報告の可否			
①6月	4		
②8月	1		
③11月	2		
2 事例報告の内容			
①診断事例	4		
②補修事例	3		
③その他	1		
3 研修会内容への要望			
	11		3
4 研修会資料の配布			
①後日	14		3
②希望者	20	3	6
③必要無し			
5 懇親会の開催			
賛同する	20	1	5
§ 2. 現場研修について			
1 開催への希望	15	1	2
2 見学可能施設	1		
§ 3. 検査機器の実習			
参加希望	13	2	3
§ 4. 広報部会			
参加可能	4		
§ 5. その他			
当会への意見・要望	7		1

●研修会内容への要望

- 1 設計において照査時に考慮する事項
- 2 診断機器
- 3 技術者倫理、コンプライアンス等
- 4 補修材関係
- 5 新しく要領化される試験に関する情報・研修
- 6 コンクリート診断技術の動向
- 7 積雪寒冷地における補修・補強技術の課題・留意点
- 8 補修工法・材料の解説
- 9 CPDに登録
- 10 最新の研究動向(JCI大会の内容)
- 11 札幌以外での開催を
- 12 コンクリート関係の最新技術
- 13 普及講習会の4月開催(年度末工事が多数)
- 14 コンクリート診断士の養成
- 15 最新の補修工法、計画、調査機器

●現場研修会への希望

- 1 長期間に渡るモニタリング
- 2 歴史建造物と補修現場を交互に
- 3 開催時期は、3～6、8、9～10月
- 4 土木遺産のコンクリート構造物
- 5 北海道新幹線関係
- 6 補修・補強の施工
- 7 補修・補強に関係する研究機関
- 8 道央～道北(旭川)
- 9 補修済の経過確認(漏水、凍害対策)
- 10 札幌周辺、上川管内の橋梁
- 11 JCI北海道支部発行「北海道におけるコンクリートの歴史」を参照
- 12 研修後の懇親会の開催
- 13 コンクリート構造物の非破壊検査
- 14 泊原子力発電所3号機
- 15 ダム、砂防堰堤
- 16 海岸線地域での断面修復・電気防食

●当会への意見・希望

- 1 懇親会は毎年、または今年度のみ
- 2 他地区診断士会への講師依頼
- 3 研修会参加者名簿の配布
- 4 簡易調査に特化
(道具・機器、スペック、価格等)
- 5 情報交換の場として懇親会を希望
- 6 寒地土木研究所研究結果の解説
- 7 コンクリート診断士の社会的認知度と役割の向上を推進
- 8 JCI北海道支部との連携

1. 収入の部

項 目	予算額	決算額	比較	記 事
会費	円	円	円	
個人 5,000円/人	395,000	493,000	98,000	正 84人、賛助 13人,他4人
法人 30,000円/社	750,000	780,000	30,000	法人会員 26社
前年度繰越金	704,662	704,662	0	
預金利息	184	199	15	銀行利息(2月、8月)
検査機器の試験実習会費	60,000	78,000	18,000	3,000円×26人
現場研修会費	46,000	28,000	△ 18,000	2,000円×14人
収入の部合計	1,955,846	2,083,861	128,015	

2. 支出の部

項 目	予算額	決算額	比較	記 事
	円	円	円	
1) 第1回技術研修会(6月10日)	94,000	95,688	△ 1,688	
会場費	24,000	24,000	0	北海道開発協会
講師料	60,000	65,000	△ 5,000	
雑費	10,000	6,688	3,312	
2) 第2回技術研修会(7月30日)	94,000	103,800	△ 9,800	
会場費	24,000	43,800	△ 19,800	北海道職業能力開発大学校
講師料	60,000	60,000	0	
雑費	10,000	0	10,000	
3) 第3回技術研修会(11月25日)	94,000	81,440	12,560	
会場費	24,000	14,900	9,100	札幌コンベンションセンター
講師料	60,000	60,000	0	
雑費	10,000	6,540	3,460	
4) 診断士普及講習会(3月31日)	260,000	237,860	22,140	
会場費	40,000	40,000	0	北海道開発協会
講師料	120,000	120,000	0	
旅費(講師)	70,000	70,000	0	
雑費	30,000	7,860	22,140	
5) 講演会(2月1日)	36,900	26,080	10,820	
会場費	10,820		10,820	総会会場費に含み
講師料	11,000	11,000	0	
旅費(講師)	5,000	5,000	0	
雑費	10,080	10,080	0	
6) 現場研修会(10月18日)	66,000	71,880	△ 5,880	札幌、京極
謝礼	20,000	0	20,000	
バス代	46,000	52,500	△ 6,500	
雑費	0	19,380	△ 19,380	
7) 総会費(2月1日)	60,820	66,300	△ 5,480	
会場費	10,820	16,300	△ 5,480	道民活動振興センター(かでの2・7)
旅費(来賓)	50,000	50,000	0	
8) 前年度役員会(12月22日)	0	5,340	△ 5,340	
会場費		5,340	△ 5,340	道民活動振興センター(かでの2・7)
9) 事務費	100,000	37,450	62,550	
10) 日本コンクリート診断士会負担金	39,500	79,500	△ 40,000	
11) その他予備費	1,110,626	0	1,110,626	
支出の部合計	1,955,846	805,338	1,150,508	

収入2,083,861円-支出805,338円=次年度繰越金1,278,523円

第3号議案

平成24年度 事業計画（案）

1. 研修会（会則4条（1） コンクリート診断技術の向上のための活動）

- ◇調査・試験機器の使用実習
- ◇企業の診断・補修工事の実施報告会
- ◇会員の診断・補修工事の実施報告会
- ◇補修・補強材料、工法関連の協会との情報交換
- ◇技術部会による診断・補修工事における積算・歩掛についての検討
- ◇業界への広報活動の推進

2. 現場研修会（会則4条（1） コンクリート診断技術の向上のための活動）

- ◇補修工事現場、又は土木遺産、大規模プロジェクトの見学

3. 講演会（会則4条（2） コンクリート診断士の品位保持に関する活動）

4. 講習会（会則4条（3） コンクリート診断士制度の普及）

事業計画工程表（過年度実施・今年度（案））

	1月	2月	3月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
H21年度	30日 ③(総会)	21日 ④		30日 ①		26日 試験	27日 ①	25日 ②		26日 ①
H22年度	25日 ③(総会)		27日 ④	28日 ①		25日 試験 31日①		17日 ②		29日 ①
H23年度		1日 ③(総会)	31日 ④		10日 ①	24日 試験 30日①			18日 ②	25日 ①
H24年度		17日 ③(総会)	下旬 ④		上旬 ①	22日 試験	上旬 ①		上旬 ②	下旬 ①

第4号議案

平成24年 北海道コンクリート診断士会 予算書(案)

1. 収入の部

項 目	本年度予算	前年度決算	比較	記 事
会費	円	円	円	
個人 5,000円/人、2,000円/人	518,000	493,000	25,000	正 88人、賛助 14人、他4人
法人 30,000円/社	780,000	780,000	0	法人会員 26社
前年度繰越金	1,278,523	704,662	573,861	
預金利息	199	199	0	銀行利息(2月、8月)
検査機器の試験実習会費	78,000	78,000	0	3,000円×26人
現場研修会費	28,000	28,000	0	2,000円×14人
補助金(北海道)	367,500	0	367,500	建設業経営改革総合支援事業
収入の部合計	3,050,222	2,083,861	966,361	

2. 支出の部

項 目	本年度予算	前年度決算	比較	記 事
	円	円	円	
1) 第1回技術研修会(6月上旬)	94,000	95,688	△ 1,688	
会場費	24,000	24,000	0	北海道開発協会
講師料	60,000	65,000	△ 5,000	
雑費	10,000	6,688	3,312	資料作成、お茶
2) 第2回技術研修会(7月下旬)	170,000	103,800	66,200	
会場費	50,000	43,800	6,200	北海道職業能力開発大学校
講師料	110,000	60,000	50,000	
雑費	10,000	0	10,000	資料作成、お茶
3) 第3回技術研修会(11月下旬)	94,000	81,440	12,560	
会場費	24,000	14,900	9,100	北海道開発協会
講師料	60,000	60,000	0	
雑費	10,000	6,540	3,460	資料作成、お茶
4) 診断士普及講習会(3月27日)	260,000	237,860	22,140	
会場費	40,000	40,000	0	北海道開発協会
講師料	120,000	120,000	0	
旅費(講師)	70,000	70,000	0	
雑費	30,000	7,860	22,140	資料作成、お茶
5) 講演会(2月17日)	36,080	26,080	10,000	道民活動振興センター(かでの2・7)
会場費	10,000	0	10,000	
講師料	11,000	11,000	0	
旅費(講師)	5,000	5,000	0	
雑費	10,080	10,080	0	資料作成、お茶
6) 現場研修会(10月上旬)	95,000	71,880	23,120	
謝礼	20,000	0	20,000	
バス代	55,000	52,500	2,500	
雑費	20,000	19,380	620	
7) 総会費(2月17日)	60,000	66,300	△ 6,300	
会場費	10,000	16,300	△ 6,300	道民活動振興センター(かでの2・7)
旅費(来賓)	50,000	50,000	0	
8) 前年度役員会(12月22日)	0	5,340	△ 5,340	
会場費	0	5,340	△ 5,340	道民活動振興センター(かでの2・7)
9) 前年度研修会費	73,553	0	73,553	
印刷費	73,553	0	73,553	
10) 前年度HP更新費	250,000	0	250,000	
更新ならびに運営費	250,000	0	250,000	
11) 事務費	200,000	37,450	162,550	
12) 日本コンクリート診断士会負担金	51,000	79,500	△ 28,500	
13) その他予備費	1,666,589	0	1,666,589	
支出の部合計	3,050,222	805,338	2,000,224	

役員名簿（案）

:変更

役 職	平成23年度	平成24年度～平成25年度(案)	備考
会 長	上原泰正 (北日本港湾コンサルタント(株))	上原泰正 (北日本港湾コンサルタント(株))	
副 会 長	平山正幸 (大北土建工業(株))	平山正幸 (大北土建工業(株))	
幹 事	田畑雅幸 (北海道職業能力開発大学校)	田畑雅幸 (北海道職業能力開発大学校)	
幹 事	大塩進一 (新太平洋建設(株))	大塩進一 (新太平洋建設(株))	
幹 事	神田貴尚 (株山田組)	神田貴尚 (株山田組)	
幹 事	得地幹男 (株濱谷建設)	得地幹男 (株濱谷建設)	
幹 事	奥 義 男 (三ツ輪ベントラス(株)根室工場)	退任	
幹 事	種綿順一 (大成ロテック(株))	種綿順一 (大成ロテック(株))	
幹 事	奈良義明 (HRS(株))	奈良義明 (HRS(株))	
監 査 役	中村信之 ((財)港湾空港建設技術 サービスセンター 北海道支部)	中村信之 ((財)港湾空港建設技術 サービスセンター 北海道支部)	
監 査 役	秋山 護 (株ホッコン)	秋山 護 (株ホッコン)	
事 務 局 長	大内義仁 (日本データサービス(株))	大内義仁 (日本データサービス(株))	

第6号議案

会則変更（案）

第7章 旅費規程

（旅費規程）

第22条 この規程は、会長の命により北海道コンクリート診断士会の用務に関わる旅行をする役員等の旅費について、必要な事項を定めるものとする。

2 この会の用務のため、勤務場所または居所を離れた旅行する場合には、当該者に対し旅費を支給する。

3 旅費は、もっとも経済的な通常の経路および方法により支給する。

（旅費の種類）

第23条 旅費の種類は、鉄道賃、航空賃、日当、宿泊料および車賃とする。

2 鉄道賃は、旅客運賃の実費を支給する。

3 航空賃は、航空運賃の実費を支給する。

4 日当は、日数に応じて1日当りの定額（2,000円）を支給する。

5 宿泊料は、実費（ただし10,500円を上限）を支給する。

6 車賃は、原則、支給しない。ただし、会長が認めて自家用車等で旅行した場合1キロメートル当たり20円を支給する。

7 タクシー料金は、緊急を要する場合、僻地または深夜・早朝等、公共交通機関が利用できない場合など以外は、支給しない。

第8章 その他

（会則）

第24条 この会則の執行にあたり、必要な規定、及び事項は、役員会の決議により別に定める。

2 この会則は会員、又は役員からの要請により、役員会において出席した役員の3分の2以上の同意、又は3分の1以上の会員の要請をもって発議し、総会において出席した会員の3分の2以上の議決がなければ変更することができない。

3 この会則は、平成21年1月30日発効する。

（会の運営）

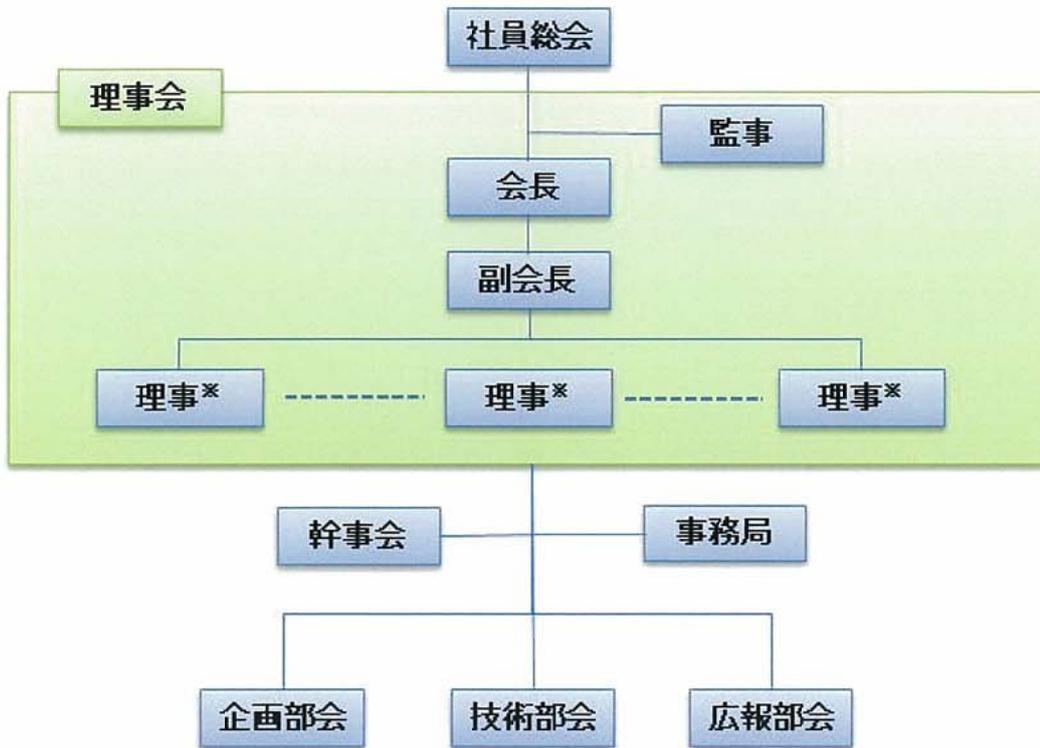
第23条 本会は原則としてインターネットで運営するものとする。

附則

1 本会の会則を一部を改正し、平成23年2月1日から施行する。

1 本会の会則を一部を改正し、平成24年2月17日から施行する。

・一般社団法人日本コンクリート診断士会組織表



注)※ 3名以上, 20名以内
 会員数(2011年12月現在)
 学会会員:14名
 正会員 :823名
 賛助会員:58名
 法人会員:55社

・理事・監事

理事・監事	氏名	所属
理事・会長	林 静雄	学会会員 東京工業大学教授
理事・副会長	小野 定	東京コンクリート診断士会会長
理事・副会長	佐藤 嘉昭	NPO法人大分県コンクリート診断士会理事長
理事・企画部会長	田澤 雄二郎	東京コンクリート診断士会副会長
理事・企画部会副会長	石川 裕夏	福井県コンクリート診断士会会長
理事・技術部会長	奥田 由法	石川県コンクリート診断士会会長
理事・技術部会副会長	有本 尚巳	鳥取県コンクリート診断士会会長
理事・広報部会長	長谷川 光弘	京滋コンクリート診断士会会長
理事・広報部会副会長	奈良 裕	青森県コンクリート診断士会会長
理事・会員担当	名倉 昭三	静岡コンクリート診断士会会長
理事・会員担当	日堂 俊之	長野県コンクリート診断士会会長
理事・会員担当	秋友 一男	高知県コンクリート診断士会前会長
理事・会員担当	井田 豊	島根県コンクリート診断士会会長
理事・事務局長	毎田 敏郎	東京コンクリート診断士会事務局長
監事	伊藤 司朗	新潟県コンクリート診断士会副会長
監事	上原 泰正	北海道コンクリート診断士会会長

・活動記録（平成23年度）

●コンクリート診断士受験直前講座を開催しました。

開催日：平成23年7月2～3日
開催場所：東京都渋谷区
参加者数：24名

●23年度総会 平成23年6月14日

下記のように第2回定時社員総会が開催されました。

日時：6月14日（金）14時50分～15時50分
場所：JCI 11F会議室

出席者：71名

学術・正会員：478名（うち委任状414名、3月31日現在議決権数：688名）

賛助会員出席者数：1名

法人会員出席者数：11名

マスコミ関係者：3名

主な議題

第1号議案：平成22年度事業および収支報告

第2号議案：平成23年度事業および収支計画

第3号議案：細則の改定

報告-1：各地区コンクリート診断士会活動報告と計画

報告-2：部会活動報告

報告-3：会員数報告

報告-4：サステナビリティ委員会報告

議事の詳細は、議事録を参照してください。

総会に先立ち、JCDの今後の活動計画について討論会を行いました。詳細は、[議事録](#)を参照ください。

特別講演（16時15分～17時10分）

林 静雄JCD会長

演題：建物の耐震化の進め方

懇親会を17時過ぎから開催しました。

（参加者：林JCD会長、各地区診断士会会長、他総会出席者：50名）



コンクリート診断士 県別・業種別登録者数 (平成23年4月1日現在)

勤 務 先 業 種

都道府県	勤 務 先 業 種																	合計	比率	
	官庁	独立行政法人・ 事業団・公庫	地方自治体・ 地方公社	大学・学校	設計事務所	コンサルタント	エンジニアリング	調査診断	建設	鉄道	道路	電力・ガス	生コンクリート	コンクリート製品	セメント	混和材料	試験			その他
北海道	7	12	9	5	18	188	4	14	207	4	6	7	23	19	20	4	3	18	568	6.8%
青森県	0	0	1	0	2	14	0	0	28	0	0	6	16	1	0	0	0	2	70	0.8%
秋田県	1	0	8	0	0	14	0	0	10	0	0	2	7	1	0	0	0	1	44	0.5%
岩手県	2	1	9	1	0	15	0	0	15	0	1	2	10	3	0	0	0	4	63	0.8%
山形県	1	0	2	0	0	6	0	1	11	0	0	0	4	4	0	0	0	4	33	0.4%
宮城県	2	1	3	2	4	65	3	9	95	3	6	29	12	4	9	2	1	7	257	3.1%
福島県	2	0	6	0	1	8	0	1	12	0	1	10	6	2	1	0	0	1	51	0.6%
新潟県	1	4	11	2	0	27	3	6	100	2	4	10	15	10	4	6	0	10	215	2.6%
長野県	0	0	9	0	2	14	2	1	55	3	1	3	11	4	1	0	2	2	110	1.3%
茨城県	3	5	3	0	1	12	0	2	46	0	1	0	6	6	3	0	1	9	98	1.2%
栃木県	0	0	5	0	0	8	0	0	35	0	1	3	3	1	2	0	0	2	60	0.7%
群馬県	0	0	3	1	0	11	1	0	22	1	1	4	6	2	3	0	0	2	57	0.7%
埼玉県	3	5	8	0	4	68	2	7	167	16	3	2	6	12	19	6	6	19	353	4.2%
千葉県	2	5	18	2	5	77	2	8	165	6	8	16	17	6	42	9	7	28	423	5.1%
東京都	6	12	18	1	23	262	23	44	719	38	34	22	21	23	73	27	2	63	1,411	17.0%
神奈川県	2	3	20	2	5	78	10	21	217	10	15	18	15	5	5	20	3	38	487	5.9%
山梨県	0	0	1	0	0	9	0	0	9	0	1	1	2	1	0	0	0	1	25	0.3%
静岡県	0	0	6	0	1	17	0	3	50	0	10	1	11	2	0	1	0	8	110	1.3%
富山県	1	3	11	0	0	25	0	6	27	3	1	10	9	2	0	2	0	1	101	1.2%
石川県	4	1	4	0	0	33	2	2	34	3	1	1	10	2	3	0	0	4	104	1.3%
岐阜県	3	0	2	3	2	34	1	3	68	0	1	2	6	6	0	0	1	1	133	1.6%
愛知県	1	4	11	3	8	96	8	7	204	5	10	2	12	13	11	15	3	13	426	5.1%
三重県	3	1	5	1	0	5	4	1	24	0	3	0	4	3	0	0	1	2	57	0.7%
福井県	0	0	9	0	0	20	2	0	32	1	0	3	5	12	1	0	4	5	94	1.1%
滋賀県	1	0	2	0	0	11	0	0	18	0	1	1	7	5	0	0	0	1	47	0.6%
奈良県	1	0	0	0	2	12	0	0	26	3	1	0	3	0	0	1	1	2	52	0.6%
京都府	2	0	6	1	0	25	1	3	28	7	0	0	8	10	0	0	1	3	95	1.1%
大阪府	2	4	16	1	21	158	7	39	344	20	10	6	9	9	21	11	8	26	712	8.6%
和歌山県	0	1	2	0	0	4	0	0	11	0	1	0	4	0	0	0	0	0	23	0.3%
兵庫県	2	4	18	2	3	53	10	11	115	11	17	3	12	10	4	0	6	27	308	3.7%
岡山県	0	0	3	1	0	26	2	1	41	3	4	0	2	8	0	3	0	4	98	1.2%
広島県	3	1	5	1	5	94	12	6	112	3	6	8	8	6	8	6	1	13	298	3.6%
山口県	1	2	10	2	1	14	0	0	29	1	0	0	16	3	14	0	2	7	102	1.2%
島根県	2	1	10	0	1	33	0	0	19	0	2	1	4	3	1	1	1	2	81	1.0%
鳥取県	1	1	1	0	0	17	0	0	9	0	0	0	1	0	0	0	0	2	32	0.4%
徳島県	1	1	2	2	0	15	3	1	7	0	2	2	3	0	0	1	0	2	42	0.5%
香川県	1	1	4	0	0	27	4	2	40	1	6	17	4	6	6	1	0	10	130	1.6%
愛媛県	0	1	3	0	1	10	1	1	16	0	1	2	3	0	0	1	1	1	42	0.5%
高知県	1	1	2	0	0	9	0	0	10	0	1	0	4	0	0	0	0	2	30	0.4%
福岡県	2	2	11	3	10	147	6	15	192	2	5	10	7	13	19	4	2	20	470	5.6%
佐賀県	0	0	2	0	0	9	0	0	12	0	1	1	1	1	0	0	0	1	28	0.3%
長崎県	0	0	8	4	2	10	0	3	12	0	0	1	10	0	0	0	0	2	52	0.6%
熊本県	2	0	5	1	1	28	0	0	11	1	0	1	3	3	0	0	0	3	59	0.7%
大分県	3	0	5	0	0	34	1	2	39	0	0	0	1	1	1	0	0	5	92	1.1%
宮崎県	3	0	4	1	1	14	1	0	14	1	1	2	7	2	0	1	0	1	53	0.6%
鹿児島県	0	1	3	0	1	36	1	0	20	0	0	1	4	2	1	2	0	3	75	0.9%
沖縄県	2	0	0	0	1	19	0	2	14	0	0	0	3	2	1	1	0	1	46	0.6%
海外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0.0%
合計	74	78	304	42	126	1,911	116	222	3,491	148	168	210	361	228	274	125	57	384	8,319	100%
構成比	0.9%	0.9%	3.7%	0.5%	1.5%	23.0%	1.4%	2.7%	42.0%	1.8%	2.0%	2.5%	4.3%	2.7%	3.3%	1.5%	0.7%	4.6%	100%	



コンクリート診断士 県別・業種別登録者数

2010年4月1日現在

都道府県	勤務先業種																	合計	比率	
	官庁	独立 行政法 人・事 業団・ 公庫	地方 自治体 ・地方 公社	大学・ 学校	設計 事務所	コンサ ルタント	エン ジニア リング	調査 診断	建設	鉄道	道路	電力・ ガス	生コ ンクリ ート	コン クリ ート 製品	セメ ント	混和 材料	試験			その他
北海道	5	10	5	5	14	167	3	12	181	7	7	3	20	20	19	2	3	15	498	6.7%
青森県	0	1	1	0	0	11	0	0	23	0	0	6	15	0	0	0	0	2	59	0.8%
秋田県	1	0	6	0	0	12	0	0	10	0	0	3	7	0	0	0	0	1	40	0.5%
岩手県	1	0	8	1	0	13	0	0	13	0	1	1	9	3	0	0	0	2	52	0.7%
山形県	2	0	2	1	0	5	0	1	10	0	0	1	4	5	0	0	0	3	34	0.5%
宮城県	1	1	2	1	2	55	3	7	93	2	6	28	9	4	8	3	1	8	234	3.1%
福島県	3	0	4	0	1	5	0	0	12	0	1	10	6	2	1	0	0	0	45	0.6%
新潟県	0	3	8	3	0	19	2	6	89	2	4	8	14	11	5	5	0	9	188	2.5%
長野県	0	0	4	0	1	12	0	1	51	2	1	3	9	4	1	0	2	0	91	1.2%
茨城県	3	5	3	0	1	12	0	2	51	1	1	1	6	5	3	0	1	7	102	1.4%
栃木県	0	0	4	0	0	7	0	0	31	0	1	3	4	1	1	0	0	1	53	0.7%
群馬県	0	0	2	1	0	9	0	0	21	0	1	6	5	2	4	0	0	2	53	0.7%
埼玉県	2	6	6	0	6	52	2	4	158	13	2	2	6	12	21	5	7	20	324	4.3%
千葉県	1	5	12	1	4	64	2	8	162	5	6	15	11	6	45	9	6	24	386	5.2%
東京都	4	10	12	1	18	237	20	37	677	36	29	24	15	21	70	34	1	59	1,305	17.5%
神奈川県	2	5	13	2	3	75	10	17	199	11	12	19	12	7	3	18	2	40	450	6.0%
山梨県	0	0	1	0	0	7	0	0	8	0	0	1	2	1	0	0	0	1	21	0.3%
静岡県	0	1	2	0	1	13	0	3	47	0	12	1	7	2	1	1	0	8	99	1.3%
富山県	1	2	9	0	0	21	0	4	26	1	0	9	9	2	0	2	0	1	87	1.2%
石川県	4	0	3	0	2	24	2	3	32	3	1	0	8	2	4	0	0	4	92	1.2%
岐阜県	3	0	2	3	2	32	1	3	59	0	1	1	5	4	0	0	1	0	117	1.6%
愛知県	1	4	10	2	8	80	7	5	192	5	5	7	10	12	11	16	2	15	392	5.3%
三重県	2	1	3	1	1	4	4	0	20	0	1	0	2	2	0	0	1	2	44	0.6%
福井県	0	0	7	0	0	19	1	0	29	0	1	3	5	11	1	0	4	5	86	1.2%
滋賀県	1	0	0	0	0	11	0	0	14	1	0	1	5	3	0	0	0	3	39	0.5%
奈良県	1	0	1	0	2	11	0	0	26	4	0	1	2	0	0	1	1	1	51	0.7%
京都府	2	0	4	0	0	23	0	3	25	6	1	0	7	10	0	0	0	2	83	1.1%
大阪府	1	2	10	1	15	141	5	34	324	18	6	6	7	9	22	10	7	28	646	8.7%

2011年度コンクリート診断士試験結果の概況

(2011年7月24日実施)

試験地	受験申込者	受験者	合格者	合格率(%)
札幌	610	508	89	17.5
仙台	395	315	46	14.6
東京	2,296	1,769	326	18.4
名古屋	831	683	124	18.2
大阪	1,082	848	139	16.4
広島	431	343	37	10.8
高松	257	206	32	15.5
福岡	1,111	909	89	9.8
沖縄	78	59	5	8.5

2010年度コンクリート診断士試験結果の概況

(2010年7月25日実施)

試験地	申込者	受験者	合格者	合格率(%)
札幌	659	558	84	15.1
仙台	561	465	72	15.5
東京	2,253	1,813	361	19.9
名古屋	822	681	108	15.9
大阪	1,141	936	168	17.9
広島	461	364	64	17.6
高松	245	202	27	13.4
福岡	1,129	922	156	16.9
沖縄	72	57	7	12.3
全国	7,343	5,998	1,047	17.5

2009年度コンクリート診断士試験結果の概況

(2009年7月26日実施)